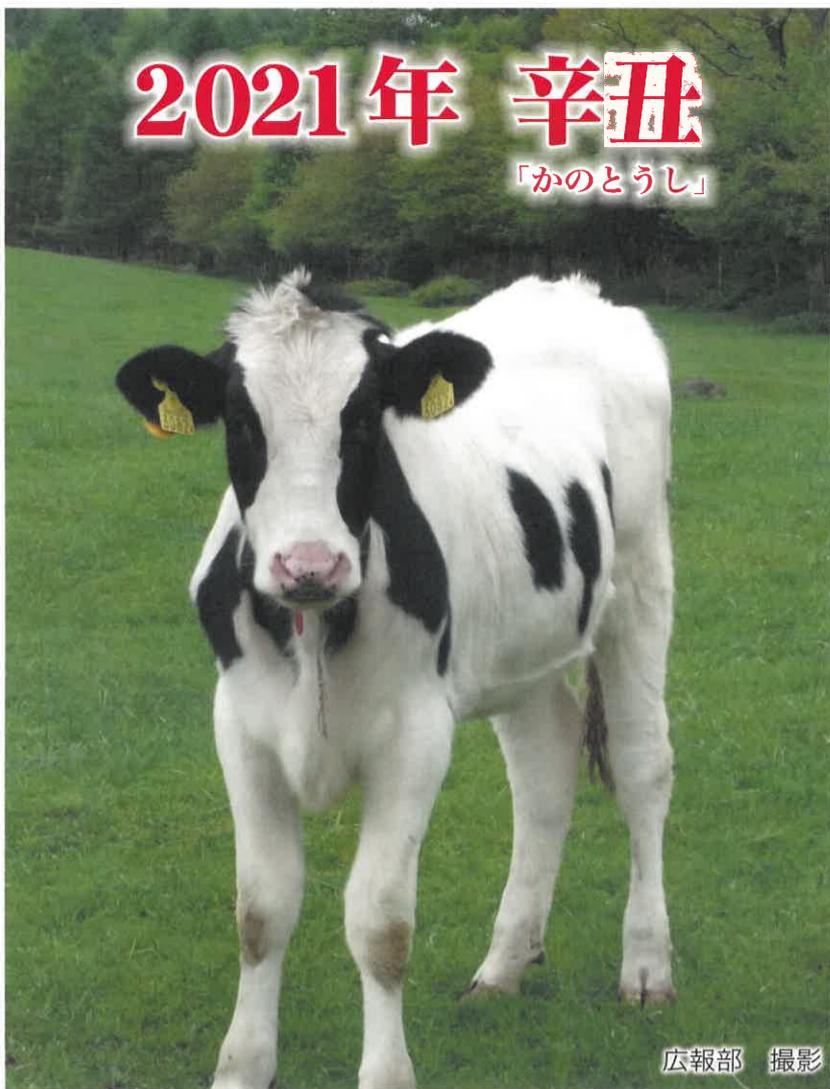




発行
新川中原住民協議会
企画・編集
住民協議会広報部
コミュニティセンター
三鷹市新川1-11-1
TEL 0422(49)6568~9
http://www.mitakacc.jcomoffice.jp/~sncc/
印刷 仲田印刷



広報部 撮影

2021年 辛丑

「かのとうし」



新年のごあいさつ

新川中原住民協議会
会長 遠藤 典子

新年明けましておめでとう
ございます。
昨年中は、新川中原住民協
議会の活動にご理解とご協
力をいただき、心よりお礼申
上げます。
昨年の2月頃から新型コロナ
ウイルス感染症が世界的流
行となり、人々は日常生活を
自粛しなければならぬ状況
になってしまいました。新し
い年を迎えても収束する様子
は見えず、皆様も不安な日々
をお過ごしのことと存じます。

新川中原コミュニティセン
ターに於いても三鷹市からの
要請を受け、3月から5月ま
で休館しました。当センター
を利用し活動している、自主
グループや地域の皆様には大
変ご不便をおかけ致しました。
7月以降は新たな部屋の利
用条件の下、使用していただ
ける様になりました。もちろ
ん新しい生活様式として示さ
れた三密(密接・密集・密閉)
の回避や飛沫感染の予防対策
を図っていただいています。

自主グループの方の元気に
姿や笑顔を拝見してきますと、
いかに人と人との繋がりが大
切であるかと感じられます。
また、当住民協議会が地域
の皆様のご協力で毎年開催し
ている三人行事の「コミュニ
ティ祭り」「盆踊り大会」「運
動会」も委員の話し合いで中
止せざるを得ませんでした。
歴史を紐解いて見ますと、
人類は紀元前からウイルスに
よる感染症のみならず、自然
災害の地震・異常気象や人的



災害の戦争など未曾有の規模
の被害を経験して来ています。
そのつど二度と立ち上がれ
ないと思われた事態にも打ち
勝って、脈々と命を繋いでい
ます。

昨年7月23日新国立競技場
で、白血病から競技復帰を目
指している競泳女子の池江璃
花子さんが、「希望が遠くに
輝いているからこそどんなに
つらくても、前を向いて頑張
れる」と世界中にメッセージ
を送りました。とても心に響
く言葉でした。

このコロナ禍の状態が完全
に元に戻るには、まだまだ時
間が掛かると考えられます。
人と人との交流が難しくなっ
ている今こそ、地域の繋がりが
重要と思われれます。

新川中原住民協議会は今年
も三人行事や各部会主催の行
事を計画していますが、突然
中止にすることがや例年通りの
形で行えないことがあるかも
知れません。「安心して住め
るまち新川中原」を目指して、
皆様と一緒に地域の繋がりを
創り出す活動を続けて行きた
いと思えます。

最後に、この度新型コロナウイルス
感染症に罹患された
方には謹んでお見舞い申し上
げますとともに、一日も早い
ご快復を心よりお祈り申し上
げます。また、最前線で国民
の健康福祉に貢献してくだ
さっている医療従事者に心よ
り敬意を表します。
本年もどうぞよろしくお願
い致します。

休館日のお知らせ
新年は5日(火)
より開館
※1月5日(火)
は午後5時閉館

1月	11日(月)
	12日(火)
	18日(月)
	25日(月)
2月	1日(月)
	8日(月)
	11日(木)
	15日(月)
	22日(月)
	23日(火)



コロナ禍に負けない 「コミュニティ創生」の推進を!

杏林大学客員教授
ルーテル学院大学学事顧問
ケアネット・しんなか委員

清原 慶子

新年を迎え、皆様のご健勝
とご多幸をお祈り致します。

私たちは今、新型コロナウ
イルス対策という課題ととも
に、「少子長寿化」に伴う高
齢者・障がい者支援や子育て
支援、災害対策等の重要な地
域課題に直面しています。

これらの課題解決はまずは
国や自治体の政策課題ですが、
行政サービスには隙間や不十
分な面があることから、生活
圏を共有する住民が支え合い
ながら「コミュニティ創生」
の未来を切り拓いていくこと
が有意義で必要です。

コロナ禍での「コミュニ
ティ創生」を考える際には
「こ」の付く言葉が重要な視
点を与えてくれます。すなわ
ち、「コミュニティにおいては、
特に「子ども」「子育て世代」
「高齢者」「困難にある人」が
「孤立」しないように支え合
う方向で、相互に「貢献」し
合う活動が必要です。

特に高齢者の一人暮らしや
夫婦のみの世帯が増加傾向に
あり、心身の健康と安全確保
が重要性を増しています。
これまで長きにわたりその
活動を進めているのが町会・
自治会、住民協議会、災害対
策連合会、地域ケアネット
ワークやほのぼのネット、青

少対・交通対などの住民の主
体的活動です。

新川中原地域では、丸池の
里わくわく村や昨年11月7日
に第3回野外映画祭を実施し
た鷹南倶楽部の活動もあるの
が強みです。鷹南倶楽部は主
として小中学校のPTA役員
やコミュニティスクール委員
会委員の経験者が、子どもた
ちが卒業した後もその経験や
人的交流を基礎に、コミュニ
ティでの「多世代交流」活動
を企画し実践しています。

子どもたちは家族以外の地
域の人々に大切に見守られた
経験があれば、やがては特に
高齢者の状況を理解し、敬意
を抱きつつ支える活動をして
いくのではないかと思います。
世代を超えた「おかげ様・
お互い様」の想いが地域の支
え合いの原点と言えます。

一般にコミュニティ活動に
ついて、担い手の高齢化や活
動のマンネリ化が指摘されま
すが、コロナ禍の今だからこ
そ求められているのが、働く
世代、子育て世代、青少年を
含む子どもから高齢者までの
多世代の参加による持続可能
なコミュニティ活動です。

しかもコロナ禍は「命の重
み」と向き合う日々の緊張感
をもたらすとともに、三密や

対面活動の抑制から、テレ
ワーク、オンライン授業、ネッ
トショッピング等のデジタル
化が進展し、人々が家庭やコ
ミュニティで過ごす時間が増
えて、コミュニティの再評価
の機運が高まっています。

新型コロナウィルスの「コ
ロナ」はギリシャ語で「王冠」
という意味で、その形から名
前が付けられています。その
終息の見通しが不透明な中で
新年を迎えましたが、私達は
感染症対策と健康管理に努め
つつ、これまで積み重ねてき
た地域での支え合いの「コ
ミュニティ活動」を守りぬい
ていく過程を通して、「安全
安心なコミュニティでの暮ら
し」という「王冠」を獲得し
ていくことを願います。

コロナ禍の克服には困難を
伴いますが、多世代の多様な
住民の「個性」を尊重した「コ
ミュニティ」の実現を目指し
て、十分な感染症対策との両
立をはかりながら、コソコソ
とコミュニティ活動を継続し、
コロナ禍に負けない「コミュ
ニティ創生」を推進していき
ましょう。

(本稿は「野外映画祭」昼の
部の座談会での発言をもとに
再構成したものです)

目標を決めて

東台小学校

小坂 芹

私は、六年生での目標が二つあります。

一つ目は、いろいろなことにチャレンジできる自分になることです。例えば、苦手な社会をこく服するチャレンジがもともと得意な鉄ぼうがもつとつまくなるようなチャレンジをしたいと思います。

二つ目は、フラダンスも勉強も両立できるようにすることです。

学年が上がるとどれもレベルが高くなると思います。でもそれに負けないのが六年生だと思おうので、両立できるようにがんばります。

今年目標を決めて、たくさん努力し、人一倍がんばれる人に成長したいです。

楽しい一年へ

中原小学校

山本 和栄

私は、今年楽しく過ごせる一年にしたいと思っています。

昨年はコロナウイルスの影響で、中原小学校では、運動会が縮小して行われたり、自然教室が短くなったりしました。様々なことがいつも通りに行えなくなり、そのため、自分の力を発揮したり、存分に楽しめる機会が減っています。

しかし、今しかできないこともあるはず。小学校生活も残り三か月なので、クラスのみならず皆さんの思いを出して、中学校でも新しい友達と勉強や部活に楽しく取り組みたいです。充実した一年にしたいです。

今がんばりたいこと

中原小学校

秋元 佑太

昨年は新型コロナウイルスにより、ぼくらは一年との交流があまりできなくなっていました。

なので一年と遊んだり、関わったりすることをがんばりたいです。具体的には中休みや昼休みそして放課後に、一年生に話しかけて、おにごっこやバスケットをしたり、勉強を教えたりしたいと思います。ところでぼくにはもう一つ目標があります。それはいつも以上にがんばりたいです。

今年の抱負

佐藤 かな子

引越して15年。振り返ってみると、楽しいことしか思い浮かびません。

仕事もしていたこともあり、近所の方と関わることもありませんでした。娘が小学校にあがり、役員

かとうし 2021年 辛丑

今年への抱負と挑戦!



六年生になるには

東台小学校

竹村 優花

わたしは、「だれとでも仲良くなれる、責任感のある六年生」になりたいです。そのために、どんな事にも挑戦する、と決意しました。わたしは、五年生まで、何かに挑戦しようとしても、他の人に

ゆずる事が多く、あまり挑戦できませんでした。また、たとえ挑戦したとしても、自分が周りの人に、ついていけない、くやしい思いをする事が、たくさんありました。六年生にな

とです。例えば医療じゅうじ者がいじめをうけています。いじめではなくありますがとうとう気持ちをつたえたいです。あと3ヶ月がんばります。

決めて、東台地区の青少対委員になったことで、私の人との関わりが変わってきました。月に6回の定例会、年に3回のイベントの企画を通して、子供関係の保護者以外の年代の方々の関わりが多くなり、コミュニケーションの大切さが本当によくわかりました。これからは地域の方と楽しく色々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

友に感謝

石井 三津子

この町に住み始めて30年に

散歩道

島田 幸子



何回丑年を迎えただろう...。昨年三月頃からコロナ禍で突然次々と予定が中止になり、不安と閉塞感で家にこもり体重増加と戦っていた。

ある日、ふと仙川沿いに行ってみた。久しぶりに見るカルガモ、サギ、カワセミ。こんなに一度に見られるなんてラッキー!。それから毎日川へ行つた。まもなく子連れカルガモ三組の成長を見るようになり、動かないサギを見て、たまにカワセミの美しい姿を追いかけ、「カルガモの子どもを食べるなよ」と蛇を睨み、川へ通い続けた。おかげで体重増加はなかった。減りもなかった。今年も仙川沿いを散歩する。あと何回丑年を迎えられるだろう。今年が良い年になりますように...

気が付けば、時を重ねて年齢六十を迎えます。振り返れば沢山の人達と出会い多くを得ることができました。愉びや人生の意義は人夫々でしょうが、幸い仕事も趣味も、微力ながら関わってきた

鷹南学園だより

新任のご挨拶



令和2年4月より鷹南学園副学園長、三鷹市立第五中学校第18代校長となりました。大野浩史です。

昨年度まで大島町立第二中学校にて副校長として勤務しており、3月下旬まで大島で過ごしておりました。大島では私の住んでいた教員住宅は学区内にあり、地域の皆さんと一緒に生活をしていました。また立場上多くの大島の方々と、共生していました。初めての三鷹市、初めての校長職、かつコロナ禍での臨時休校継続となり、4月からしばらくは緊張と激動の連続でした。また、コミュニケーションセンターの臨時休館・コミュニケーション祭り、盆踊り大会、運動会も中止になったことで、地域の皆様ともなかなかお会いする機会がなく、申し訳なく思います。

さて、このコロナ禍の中だからこそ「できること」を考える必要があります。学校として最も大切なことは「学びを止めない」ことです。コロナ感染拡大防止のために学校では様々な取り組みをしております。感染症対策をしながら、日々、授業、給食、部活動、行事等を行っています。

その成果の一つが感染症対策を徹底した上で、鷹南学園3校とも10月に運動会(五中は体育大会)を実施したことです。今後学校では「学びを止めない」ために尽力します。でもそのためには新川中原地区の皆様をはじめ地域の皆様のご理解・ご協力も必要です。今後ともよろしくお願いいたします。

<p>本を出版しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ●倉田周平著● ・『新・言葉の奥底』(パレードブックス刊) [1000円] ・『まぼろしのゲスト』 ・『きりぎりす』 [1000円] (いずれも近代文芸社刊) ・『若葉の季節〜ゆるるグリーンライト』 (電子書籍出版) <p>※「ふれあい」新年号で紹介。 ※詳細は「倉田周平」で検索を & REX (渡辺) 0422(45)7441</p>	<p>明日のプランを大きく育てます</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JA 東京むさしのスーパー定期 ● 給料の振込、年金の受けとりも皆様の <p>JA 東京むさしが便利です。</p> <p>東京むさし農業協同組合 中仙川支店 ☎ 44-7391</p>	<p>元気ひろばおれんじ</p> <p>地域の人あつまれ! 様々なイベント開催中</p> <p>TEL: 0422-76-5940 三鷹市中原 3-1-65 (ツルハドラッグ前)</p> <p>株式会社 AZUMA</p> <p>東葬祭。 アズマ民間救急サービス</p>	<p>生花・鉢花・種子・用土 お花の配達・地方発送 致します。</p> <p>SHINSEIEN 新晴園</p> <p>営業時間...9:00~18:00 無定休 P有り 三鷹市新川1-13-26</p> <p>☎0422-46-0976 FAX 0422-47-7074 http://shinseien.mall.mitaka.ne.jp/</p>	<p>米穀・食料品</p> <p>海老沢米店</p> <p>☎〇四三二(四三)二五〇二</p> <p>植木手入・庭園工事</p> <p>大竹造園</p> <p>(新川一郵便局前) 三鷹市中原二一〇二二 〇四三二(四六)二八七九</p>
---	---	---	--	---



2月の行事のご案内……新川中原コミュニティセンターへどうぞ!



行事名	内容	日時	対象	募集人員	申込方法	費用・持参する物等
文化部会 美術見学会	○山本有三記念館 「日本少国民文庫」が灯したもの 一若き編集者たちとの交流— ○三鷹市美術ギャラリー 美術ギャラリー収蔵作品展I <small>あいうえお 鬚</small>	2月24日(水) 午前10時~ 山本有三記念館集合 美術ギャラリー解散	一般	10人	1月13日(水)より センター窓口へ	・無料 ・マスク着用

~健康いきいき講座に参加して~

今年度の「健康いきいき講座」のテーマは清水講師による「いつもより10分長めに動いてみよう」です。座位でできる有酸素運動4種類と12種類の筋力トレーニングを120拍(1分間15回分運動)の音楽(別れても好きな人、亜麻色の髪の乙女等の曲)に乗って動きます。

開始早々に、参加者全員による足踏み音について、先生から「大きいと膝を痛めます。腿の上の筋肉が固くなることを意識してください」と注意がありました。すると軽いタッチの足踏みに変化しました。この運動はどこの筋肉を鍛えるかを意識すると故障が少なくなる効果があると教えられました。私の収穫は、腰が痛い配偶者に伝授したい筋トレ方法がありました。それは腰の項目に座位で両手を下ろし、体を前傾させながら両手を伸ばすだけのトレーニングです。毎日のラジオ体操の中で背面ソリを毎回省略する配偶者のためにです。

先生から最後の言葉は以下です。「今日は筋トレしたから、散歩無し、散歩したから筋トレ無しではなく、プラス10分の運動を空き時間に楽しみながら毎日続けてください」

私は皿洗いと歯磨きの間に踵の上げ下げの追加とラジオ体操の時にどこの筋肉を使っている事から始めます。(宮崎 ひとみ)

<講座の感想>

- ・分かりやすい説明だった。
- ・楽しくできた。
- ・楽しく笑えてよかった。
- ・動くことで気持ち良かった。
- ・ユーモアがあり、大きな声ではっきりと話してくれ、大変分かりやすかった。

<今後の生活に取り入れたいこと>

- ・テレビのコマーシャルタイムにストレッチ。
- ・1日10分を心がける。
- ・間をみてやる。
- ・ながら運動をする。
- ・続けてやってみようと思った。
- ・テレビを見る機会が多いので、見ながら手足を動かしたい。
- ・どの体操も、生活の間にできそうで、ぜひ取り入れてみたいと思った。

息が詰まる現在だからこそ、ときめくことを探してみよう!

昨年1月下旬から始まった新型コロナウイルスとの闘いで私達の日常は一変しました。

常にマスクをつけて過ごす生活から始まり、感染を防ぐため学校や職場に行かず家で過ごす時間が増え、親しい人と会うことにも気を遣う…など考えるだけでストレスが溜まりそうです。とは言え、ストレス解消のカラオケも、外食も感染の角度から見ると控えた方が良さそうです。

「パブルを知っている世代が刺激を受ける新しい分野はもうないか」と思った方がよい。刺激を求めるならこれまで避けてきた分野を掘り下げると良いのでは。(趣旨)というあるテレビ番組のコメンテーターの発言に衝撃を受けました。

そこで、「ツマラナイなら面白いことを探してみよう!」というコンセプトでお金をかけず気軽にできる気分転換を考えてみました。こんなアイデアいかがでしょうか。

「出掛けない日にメイクしてみよう」

「ずっとマスクしているから肌トラブル」「マスクで潤っているように感じ

ても肌は乾燥している」という話題が最近テレビや雑誌でよく見かけます。実際マスクをしていると隠れて見えないからとファンデーションをつけられない人も結構いるとか。そんな生活が長いと、「〇〇は控えた方が良い」と混同して化粧も控えた方が良いと勘違いしそうですが、化粧は控えた方が良い項目にも、禁止項目にも入っていません。外出せず家にいる日でも化粧したって良いんです。化粧することで肌のダメージに気づくことがあるかも知れません。明るい口紅をつけるだけで気分が晴れることもあります。「いま流行っているメイクはどんな感じ?」と雑誌をめくって見ることが気分転換になるかも。誰かのためにでなく、自分のためにメイクする日を設けてみてはいかがでしょうか?

化粧なんかかしくない!という男性の皆様、趣味道具の手入れは如何でしょう。コロナに打ち勝つてすべての制限がなくなったらすぐ出かけられるよう道具を磨き、攻略法を考える。いつもは買って済ませる道具を時間がある時だから自分で作ってみる。好きなことに費やす至福の時間をお過ごしください。

「使うことが最高のメンテナンス」

今年は雨が多く「部屋の壁や洋服にカ

ビが生えてしまった」という話をよく耳にしました。もつと気を付けていれば良かったと思っても後の祭り。そんな時以前読んだ本を思い出しました。

着物の取り扱いに対する質問の中で、「着ることが一番のメンテナンス」とありました。

着るII手に触れるII目に触れる

つまり着ることによってその状態を確かめる機会が増えて、その時に必要な対策がすぐに行えるということです。これは着物に限らず、「出番が少ない物」全般に共通していますね。

「私は大事なものの大切にとっておき、こぞという時に使う」という考え方の世代です。お気に入りの品をこぞという時に取り出した時にそのお気に入りの品にダメージを見つけ悲しい思いをしたこと経験も多々あります。

きつと「私も」と同感して下さる方も少なくないのではないのでしょうか。お気に入りの洋服、思い出しの詰まったアクセサリ、引き出しの奥から出てきた万年筆。出番が少ないうせいでダメにしてしまう位なら、ときめきを感じながら使ってみましょう。(広報部 福士 裕子)

仲間づくり

三鷹トリム体操クラブ

コロナで弱った身体の復活を!!
動けるからだを作しましょう!
無理のないストレッチや体操で自分の体に合った筋力作り
場所 コミュニティセンター 体育館
月2回 金曜日の午前中に活動しています
体験してみませんか
連絡先 中嶋 0422-42-9930

図書室だより

新刊図書のご案内

- 「みがわり」 青山七恵
- 「日没」 桐野夏生
- 「推し、燃ゆ」 宇佐見りん
- 「自転しながら公転する」山本文緒
- 「Joy at Work」片付けどきめく働き方を手に入れる」近藤麻理恵
- 「半沢直樹 アルルカンと道化師」池井戸潤
- 「向日葵を手折る」彩坂美月
- 「一人称単数」村上春樹
- 「四畳半タイムマシンブルース」森見登美彦
- 「家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった」岸田奈美
- 「愛されなくても別に」武田綾乃
- 「避難所に行かない防災の教科書」西野弘章
- 「あかるい死にかた」木内みどり
- 「魯肉飯のさえずり」温又柔
- 「ナナメの夕暮れ」若林正恭

福祉車両で
外出のお手伝い
運転ボランティア
募集中心!
NPO法人みたくデイケア
TEL 411-01065

三鷹新川
えま歯科
クリニック
診療時間 8:30~20:00
親子診療室
バリアフリー対応
三鷹市新川1-11-13
TEL 0422-72-7224
www.ema-dental.com

各種ガス器具
プロパンガス 給湯器
都市ガス 給湯器
プロパンガス供給配管工事
アサヒ物産株式会社
TEL 0422-48-2611

あなたの近くにいる
私たちだからできる
身近なサービス
株高坂デンキ商会
家電・補聴器・電気工事・水道工事
ガス給湯器・リフォーム
TEL (0422) 30-9993
FAX 0422-30-9994
三鷹市野崎2-1-16(三鷹上連雀郵便前)

一生徒募集一
入会随時
たんぽぽ児童画教室
お問合せ: 0422-47-5748
4才~高校生
水彩、油絵、工作、陶芸、デッサン他
展示会(東京都美術館、調布市たづくり)
写生大会他
新川公園教室(1号棟 第2集会場)
水曜 2:30~7:00
中原教室 中原4-22-29
月火金土 3:00~7:00

東和書道教室
【生徒募集】
65歳以上の方の・シニアクラブ開設
令和元年12月開校(毎月 月曜日3回)
時間・午前10時~12時
新川団地・第2集会場 指導料3,000円
入会&詳細 TEL 0422-46-7259
一般入会は、ホームページ又は電話下さい
東和書道教室(日本書道館東和支部) 荻部迄

地域防災のリーダー

消防団



乗り火の用心を呼びかけたり、小学校キャンプファイヤー・盆踊りなど地域行事の警備にあたることもあります。

また月に2回程度消防操法訓練を行っています。

消防操法とは、消防ポンプ車を使って消火活動を行うための操作要領で、この訓練を通して、器具愛護の精神・組織の連携・迅速な消火技術を

地域の皆様には今後とも、ご指導ご鞭撻のほど重ねて御願い申し上げます。

三鷹市消防団第一分団
分団長 宇田川高博



新年あけましておめでとうございます。令和3年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素から消防団活動に格別のご支援、ご協力をいただいております。ことに、三鷹市消防団第一分団を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

私たちが三鷹市消防団第一分団は、各自本業を持ちながら団員20名で構成され、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から昼夜を問わず駆けつけ、その地域での経験をいかした消火活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。地域の皆さんと一緒に防災訓練を通してケガの応急処置や初期消火の方法などを広めています。

また春・秋の火災予防週間・歳末には消防ポンプ車に



養うことが出来ます。

会社員の方・自営業の方、三鷹市在住で職場が市内であることが必須になります。18歳以上の健康な方であれば、消防団は誰にでも参加できる活動です。その地域に住んでいる住民だからこそ、分けることがあります。混乱した火災・災害の場においては、その貴重な情報がかさねます。

消防団員は地域の住民などで組織され、地域に密着した活動を行っています。

是非、地域行事や防災訓練等に参加している団員を見かけた際には、気軽に声をかけて頂けたらと思います。

縁の下の力持ち「消防団」はコロナ禍の今も訓練・出動すると聞きました。(拡大状況により活動範囲等は限定) ソーシャルディスタンスをとって訓練した時期、地域限定で出動した時期もあったとか。全世界が感染拡大の脅威と戦っている毎日ですが、もう一段高いレベルの活動をしてくださいる皆様に感謝しかありません。



第3回 鷹南野外映画祭開催!!



11月7日(土)にコロナウイルス感染防止対策を行った上で、今年も鷹南野外映画祭(地域ケアネットワーク新川中原との共催)を無事開催できました。

400人余り(入場制限下)のご来場の皆さんと協力スタッフのおかげで安全で楽しく、地域の絆を感じられる多世代交流イベントができたことを御礼申し上げます。

今年度の新たな試みとして鷹南3校や地域有志の合唱演奏や「徹子の部屋」ならぬ「鷹南の部屋」に地域団体のリーダーや清原慶子前市長を招いた座談会、ご高齢者のお元気を伝えるプロジェクト等をYouTube配信して、外出を控えている方々にも地域のつながりを感じていただけた。プログラムをお届けしました。

コロナに負けることなく、新川中原地域のコミュニティの素晴らしい笑顔と助け合いの絆がますます強く深くなりますように、自分たちの力で前に進めていきましょう。(鷹南倶楽部代表 松本 猛)

しんなかサロン 再開 皆さんの笑顔が最高でした!!



2019年 撮影

昨年二月から新型コロナウイルス感染拡大により、誠に残念ですが「しんなかサロン」をお休みにしておりました。その後、外出自粛等により感染拡大の波が落ち着いてきたこともあり、三鷹市と打合せの上、昨年十月から事前申し込み・少人数・二部制でやっとな再開することが出来ました。

ソーシャルディスタンスを取り、消毒と換気、マスク、手洗い等基本的な感染予防対策を徹底する等、ケアネット委員会での検討の上、再開に踏み出しました。

お互いに顔を合わせながらお話しして歌って笑って体を動かすことが私達にとってどれだけ大事であるかをあらためて感じさせられました。

再開当日、参加者の皆さんの顔が見えるまでどれだけの方々が来てくださるのか不安で一杯でしたが、一時間も前から皆さんが集まってきてく



2020年10月 撮影

「孤立しない地域の繋がり」を守っていききたいと思っております。(地域ケアネットワーク 新川中原代表 畑谷貴美子)



私たちは、地域の皆様が好きで前向きな気持ちで暮らし、健康寿命を延ばしながら、住み続けていく為のお手伝いをし応援することによって、私たち自身も元気をもらえると感じています。